



バナーとMOTDの管理

ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

バナーとMOTDの管理	1
バナーとMOTDの概要を管理します。	1
バナーの作成	2
バナーの管理	4
MOTDの作成	5
ONTAPでMOTDを管理します。	7

バナーとMOTDの管理

バナーとMOTDの概要を管理します。

ONTAPでは、ログインバナーまたはMessage Of The Day (MOTD) を設定して、クラスタまたはStorage Virtual Machine (SVM) のCLIユーザに管理情報を提供できます。

バナーは、ユーザにパスワードなどの認証を要求する前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。たとえば、バナーを使用して、システムへのログインを試行したユーザに次のような警告メッセージを表示することができます。

```
$ ssh admin@cluster1-01

This system is for authorized users only. Your IP Address has been logged.

Password:
```

MOTD は、ユーザの認証後、クラスタシェルプロンプトが表示される前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。たとえば、MOTD を使用して、認証されたユーザに次のような情報メッセージを表示することができます。

```
$ ssh admin@cluster1-01

Password:

Greetings. This system is running ONTAP 9.0.
Your user name is 'admin'. Your last login was Wed Apr 08 16:46:53 2015
from 10.72.137.28.
```

バナーまたはMOTDの内容は、コマンドまたは `security login motd modify`` コマンドを使用して次の方法で作成または変更できます ``security login banner modify``。

- CLI の対話型モードまたは非対話型モードを使用して、バナーまたは MOTD に使用するテキストを指定できます。

対話型モードでは、または ``-uri`` パラメータを指定せずにコマンドを実行すると起動されます。このモードで ``-message`` は、メッセージに改行（行末とも呼ばれます）を使用できます。

パラメータを使用してメッセージ文字列を指定する非対話型モードで ``-message`` は、改行はサポートされません。

- バナーまたは MOTD に使用する内容を FTP または HTTP からアップロードできます。
- 動的な内容を表示するように MOTD を設定できます。

MOTD には、たとえば次のような情報を動的に表示することができます。

- クラスタ名、ノード名、または SVM 名
- クラスタの日付と時刻
- ログインしているユーザの名前
- ユーザによるクラスタのノードへの前回のログイン
- ログインしたデバイスの名前または IP アドレス
- オペレーティングシステムの名前
- ソフトウェアリリースバージョン
- 有効なクラスタバージョン文字列のマニュアルページには security login motd modify、動的に生成される内容をMOTDに表示するためのエスケープシーケンスが記載されています。

バナーでは動的な内容はサポートされていません。

バナーと MOTD はクラスタレベルまたは SVM レベルで管理できます。

- バナーには次の特徴があります。
 - クラスタ用に設定したバナーは、バナーメッセージが定義されていない SVM に対しても表示されます。
 - SVM ごとに SVM レベルのバナーを設定できます。

このバナーが設定された SVM では、クラスタレベルのバナーが設定されていても、SVM レベルのバナーだけが表示されます。

- MOTD には次の特徴があります。
 - クラスタに設定したMOTDは、デフォルトですべてのSVMに対しても有効になります。
 - さらに、SVMごとにSVMレベルのMOTDを設定できます。
- この場合、SVM にログインしたユーザには、クラスタレベルと SVM レベルの 2 つの MOTD が表示されます。
- クラスタレベルの MOTD を有効にするか無効にするかは、クラスタ管理者が SVM 単位で設定できます。

クラスタ管理者が SVM でクラスタレベルの MOTD を無効にした場合、その SVM にログインしたユーザにはクラスタレベルの MOTD は表示されません。

バナーの作成

バナーを作成して、クラスタまたはSVMへのアクセスを試みたユーザにメッセージを表示できます。バナーは、ユーザに認証を要求する前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）またはSSHセッション（クラスタアクセスまたはSVMアクセス）に表示されます。

手順

1. コマンドを使用し `security login banner modify` で、クラスタまたはSVM用のバナーを作成します。

状況	そしたら...
1行のメッセージを指定する	textパラメータを使用し`-message`でテキストを指定します。
メッセージに改行(行末とも呼ばれる)を含める	または`-uri`パラメータを指定せずにコマンドを実行する`-message`と、対話型モードでバナーを編集できます。
バナーに使用するコンテンツを場所からアップロードする	パラメータを使用し`-uri`で、コンテンツのFTPまたはHTTPの場所を指定します。

バナーの最大サイズは、改行も含めて2、048バイトまでです。

パラメータを使用して作成されたバナーは`-uri`静的です。ソースコンテンツのその後の変更を反映して自動的に更新されることはありません。

クラスタ用に作成したバナーは、既存のバナーがないすべてのSVMに対しても表示されます。以降にSVM用のバナーを作成すると、そのSVMに対してはクラスタレベルのバナーではなくそのバナーが表示されます。パラメータに二重引用符で囲まれ(`"-`またはハイフンを指定)を指定する`-message`と、クラスタレベルのバナーを使用するようにSVMがリセットされます。

2. コマンドを使用して、作成したバナーが表示されることを確認します `security login banner show`。

パラメータに空の文字列を指定する `-message("")` と、内容のないバナーが表示されます。

パラメータをに`"-`指定する`-message`と、バナーが設定されていないすべてのSVM（管理またはデータ）が表示されます。

バナーの作成例

次の例では、非対話型モードを使用して「cluster1」クラスタ用のバナーを作成しています。

```
cluster1::> security login banner modify -message "Authorized users only!"
cluster1::>
```

次の例では、対話型モードを使用して「vm1」SVM用のバナーを作成しています。

```
cluster1::> security login banner modify -vserver svm1

Enter the message of the day for Vserver "svm1".
Max size: 2048. Enter a blank line to terminate input. Press Ctrl-C to
abort.
0           1           2           3           4           5           6           7
8
12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234
567890
The svm1 SVM is reserved for authorized users only!

cluster1::>
```

次の例は、作成されたバナーを表示します。

```
cluster1::> security login banner show
Vserver: cluster1
Message
-----
---
Authorized users only!

Vserver: svm1
Message
-----
---
The svm1 SVM is reserved for authorized users only!

2 entries were displayed.

cluster1::>
```

関連情報

[バナーの管理](#)

バナーの管理

バナーはクラスタレベルまたは SVM レベルで管理できます。クラスタ用に設定したバナーは、バナーメッセージが定義されていない SVM に対しても表示されます。以降に SVM 用のバナーを作成すると、その SVM に対しては、クラスタ用のバナーではなくそのバナーが表示されます。

選択肢

- クラスタレベルのバナーの管理タスクを次に示します。

状況	そしたら...
すべての CLI ログインセッションに対して表示するバナーを作成します	クラスタレベルのバナーを設定します。 `*security login banner modify -vserver cluster_name { [-message "text"]
<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>	すべてのログイン（クラスタと SVM の両方）に対するバナーを削除する
バナーを空の文字列に設定し("") ます)。 security login banner modify -vserver * -message ""	SVM管理者が作成したバナーを上書きする
SVMのバナーメッセージを変更します。 `*security login banner modify -vserver svm_name { [-message "text"]	<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>

- SVMレベルのバナーの管理タスクを次に示します。

SVMのコンテキストでは、を指定する ` -vserver svm_name ` 必要はありません。

状況	そしたら...
クラスタ管理者が指定したバナーの代わりに SVM 用の別のバナーを表示する	SVM用のバナーを作成します。 `*security login banner modify -vserver svm_name { [-message "text"]
<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>	クラスタ管理者が指定したバナーも含め、いずれのバナーも SVM に対して表示されないようにする
SVMのSVMバナーを空の文字列に設定します。 security login banner modify -vserver svm_name -message ""	現在 SVM レベルのバナーを使用している SVM でクラスタレベルのバナーを使用している場合

MOTDの作成

Message Of The Day (MOTD) を作成して、認証されたCLIユーザに情報を伝達できます。MOTD は、ユーザの認証後、クラスタシェルプロンプトが表示される前に、コンソールセッション（クラスタアクセスのみ）または SSH セッション（クラスタアクセスまたは SVM アクセス）に表示されます。

手順

1. コマンドを使用し `security login motd modify` で、クラスタまたはSVMのMOTDを作成します。

状況	そしたら...
1行のメッセージを指定する	textパラメータを使用し ` -message` でテキストを指定します。
改行を含める(行末とも呼ばれる)	または ` -uri` パラメータを指定せずにコマンドを実行する ` -message` と、対話型モードでMOTDを編集できます。
MOTDに使用するコンテンツを場所からアップロードする	パラメータを使用し ` -uri` で、コンテンツのFTPまたはHTTPの場所を指定します。

MOTDの最大サイズは、改行を含めて2,048バイトです。

のマニュアルページに、 `security login motd modify` 動的に生成される内容をMOTDに表示するためのエスケープシーケンスが記載されています。

パラメータを使用して作成されたMOTD ` -uri` は静的です。ソースコンテンツのその後の変更を反映して自動的に更新されることはありません。

クラスタ用に作成した MOTD は、デフォルトでは、各 SVM に対して個別に作成した SVM レベルの MOTD と一緒に、すべての SVM ログインに対しても表示されます。SVMのパラメータをに `false` 設定する ` -is-cluster-message-enabled` と、そのSVMに対するクラスタレベルのMOTDは表示されません。

2. コマンドを使用して、作成されたMOTDが表示されることを確認します `security login motd show`。

パラメータに空の文字列を指定する `-message('')` と、未設定または内容が含まれていないMOTDが表示されます。

動的に生成される内容をMOTDに表示するためのパラメータの一覧については、コマンドのマニュアルページを参照して "[security login motd modify のように変更します](#)" ください。使用しているONTAPのバージョンに固有のマニュアルページを確認してください。

MOTDの作成例

次の例では、非対話型モードを使用して「cluster1」クラスタ用の MOTD を作成しています。

```
cluster1::> security login motd modify -message "Greetings!"
```

次の例では、対話型モードを使用して「vm1」 SVM 用の MOTD を作成しています。この MOTD では、エスケープシーケンスを使用して、動的に生成される内容を表示します。


```
cluster1::> security login motd modify -vserver svm1

Enter the message of the day for Vserver "svm1".
Max size: 2048. Enter a blank line to terminate input. Press Ctrl-C to
abort.
0           1           2           3           4           5           6           7
8
12345678901234567890123456789012345678901234567890123456789012345678901234
567890
Welcome to the \n SVM.  Your user ID is '\N'. Your last successful login
was \L.
```

次の例は、作成したMOTDを表示します。

```
cluster1::> security login motd show
Vserver: cluster1
Is the Cluster MOTD Displayed?: true
Message
-----
---
Greetings!

Vserver: svm1
Is the Cluster MOTD Displayed?: true
Message
-----
---
Welcome to the \n SVM.  Your user ID is '\N'. Your last successful login
was \L.

2 entries were displayed.
```

ONTAPでMOTDを管理します。

Message Of The Day (MOTD) はクラスタレベルまたはSVMレベルで管理できます。クラスタに設定したMOTDは、デフォルトですべてのSVMに対しても有効になります。さらに、SVMごとにSVMレベルのMOTDを設定できます。クラスタレベルのMOTDは、クラスタ管理者が各SVMに対して有効または無効にできます。

MOTDのコンテンツを動的に生成するために使用できるの詳細については["エスケープシーケンス"](#)、ONTAPのコマンドリファレンスを参照してください。

選択肢

- クラスタレベルでMOTDを管理します。

状況	そしたら...
既存のMOTDがない場合にすべてのログインに対するMOTDを作成する	クラスタレベルのMOTDを設定します。 `*security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> { [-message " <i>text</i> "]
[<i>-uri ftp_or_http_addr</i>]}`	SVMレベルのMOTDが設定されていない場合にすべてのログインに対するMOTDを変更する
クラスタレベルのMOTDを変更します。 `*security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> { [-message " <i>text</i> "]}	[<i>-uri ftp_or_http_addr</i>]}`
SVMレベルのMOTDが設定されていない場合にすべてのログインに対するMOTDを削除する	クラスタレベルのMOTDを空の文字列に設定し(``)ます)。 security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> -message ""
すべてのSVMで、SVMレベルのMOTDを使用するのではなく、クラスタレベルのMOTDを表示する	クラスタレベルのMOTDを設定してから、SVMレベルのすべてのMOTDを空の文字列に設定し、クラスタレベルのMOTDを有効にします。 a. `*security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> { [-message " <i>text</i> "]
[<i>-uri ftp_or_http_addr</i>]}` .. security login motd modify { -vserver !"cluster_name" } -message "" -is-cluster-message -enabled true	クラスタレベルのMOTDを使用せずに、選択したSVMについてのみMOTDを表示する
クラスタレベルのMOTDを空の文字列に設定し、選択したSVMに対するSVMレベルのMOTDを設定します。 a. security login motd modify -vserver <i>cluster_name</i> -message "" b. `*security login motd modify -vserver <i>svm_name</i> { [-message " <i>text</i> "]	[<i>-uri ftp_or_http_addr</i>]}` + この手順は、必要に応じてSVMごとに繰り返すことができます。
すべてのSVM（データと管理）に対して同じSVMレベルのMOTDを使用する	同じMOTDを使用するようにクラスタとすべてのSVMを設定します。 `*security login motd modify -vserver * { [-message " <i>text</i> "]

状況	そしたら...
<p><code>[-uri ftp_or_http_addr] }</code>*</p> <p>[NOTE] ==== CLIの対話型モードでは、クラスタと各SVMについてMOTDを個別に入力するように求められます。プロンプトが表示されたら、各インスタンスに同じMOTDを貼り付けることができます。</p> <p>====</p>	<p>クラスタレベルのMOTDをすべてのSVMで必要に応じて表示できるようにし、クラスタログイン時に表示されないようにする</p>
<p>クラスタレベルのMOTDを設定し、クラスタに対する表示を無効にします。</p> <p><code>`*security login motd modify -vserver cluster_name { [-message "text"]</code></p>	<p><code>[-uri ftp_or_http_addr] } -is-cluster-message-enabled false`</code>*</p>
<p>一部のSVMだけでクラスタレベルとSVMレベルの両方のMOTDが設定されている場合は、クラスタレベルとSVMレベルのすべてのMOTDを削除する</p>	<p>MOTDに空の文字列を使用するようにクラスタとすべてのSVMを設定します。</p> <p><code>security login motd modify -vserver * -message ""</code></p>
<p>他のSVMで空の文字列が使用されている場合、およびクラスタレベルで別のMOTDが使用されている場合にのみ、文字列が空でないSVMのMOTDを変更する</p>	<p>拡張クエリを使用して選択したMOTDを変更します。</p> <p><code>`*security login motd modify { -vserver !"cluster_name" -message !"" } { [-message "text"]</code></p>
<p><code>[-uri ftp_or_http_addr] }</code>*</p>	<p>該当するテキストが複数行にまたがる場合でも、メッセージ内の任意の場所に特定のテキスト（「January」、「2015」など）を含むすべてのMOTDを表示する</p>
<p>クエリを使用してMOTDを表示します。</p> <p><code>security login motd show -message *"January"*"2015"*</code></p>	<p>複数の連続する改行（EOL）を含むMOTDを対話型モードで作成する</p>

- SVMレベルのMOTDを管理します。

SVMのコンテキストでは、を指定する ``-vserver svm_name`` 必要はありません。

状況	そしたら...
<p>すでにSVMレベルのMOTDが設定されている場合は、別のSVMレベルのMOTDを使用する</p>	<p>SVMレベルのMOTDを変更します。</p> <p><code>`*security login motd modify -vserver svm_name { [-message "text"]</code></p>

状況	そしたら...
<code>[-uri ftp_or_http_addr] }*</code>	すでにSVMレベルのMOTDが設定されている場合は、SVMでクラスタレベルのMOTDのみを使用する
<p>SVMレベルのMOTDを空の文字列に設定し、そのSVMに対してクラスタレベルのMOTDを有効にするようにクラスタ管理者に依頼します。</p> <p>a. <code>security login motd modify -vserver svm_name -message ""</code></p> <p>b. (クラスタ管理者) <code>security login motd modify -vserver svm_name -is -cluster-message-enabled true</code></p>	現在クラスタレベルとSVMレベルの両方のMOTDが表示されているSVMに対して、SVMにどのMOTDも表示されないようにする

この手順で説明されているコマンドの詳細については、を["ONTAPコマンド リファレンス"](#)参照してください。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。